

厚生労働科学研究費補助金 医療安全対策の普及と実装に向けた研究事業

最高質安全責任者 CQSOプロジェクト

Chief Quality & patient Safety Officer



医療のリスクを低減する

Reduce the Risk, for Patient Safety.



名古屋大学医学部附属病院
(JCI認定医療機関)



支援企業・団体

テルモ(株) メスキュード医療安全基金

コニカミノルタジャパン(株) パラマウントベッド(株)

(株)ジェイ・エム・エス 瀧定名古屋(株) カーディナルヘルス(株)

他3社

最高質安全責任者CQSOプロジェクトとは

医療には、様々なリスクが潜在しています。特に、医療業務のエラーによって、患者に新たな疾病を発生させてしまうリスクは大きな脅威であり、医療の信頼を損ね、不要な医療費の原因にもなります。医療現場のリスクを減らし、患者の安全を確保するには、次の2つの能力を有する医療人材の育成と支援が不可欠です。

1

透明性、客観性、高い倫理性をもって、患者中心の観点で、困難な課題に正面から取り組むことのできる、勇気ある医療人

2

目標を達成するための指標を考え出し、科学的に戦略を構築でき、そのプロセスを周囲に納得させ、実践させられる医療人

本プロジェクトでは、①「CQSO養成事業」において、上記2つの能力を有するプロフェッショナル(CQSO)の養成を目指します。さらに、②「CQSO支援事業」において、全国のCQSOの連携をサポートし、医療全体のリスク低減に挑戦します(リスク量の測定にはA.I.技術を用います)。

「最高質安全責任者CQSOプロジェクト」について



名古屋大学医学部附属病院 患者安全推進部 教授
最高質安全責任者 CQSOプロジェクト統括責任者
長尾 能雅



名古屋大学では厚生労働省の御支援の下、2019年度より「最高質安全責任者CQSOプロジェクト」を開催しています。運営に際し、御指導、御尽力を頂戴しております多くの皆様に、心より感謝申し上げます。

私達は2014～2018年度にかけ、トヨタ自動車とタイアップし、文部科学省支援事業の一環として「明日の医療の質向上をリードする医師養成プログラム」通称ASUIISHIプロジェクトを実施しました。世界最高水準とされるトヨタの品質管理手法を医療に導入するというコンセプトの下、5年間で89名の修了生(ASUIISHI)を全国に輩出し、国内外から高い評価をいただきました。それをさらに発展させたのが本プロジェクトです。トレーニングプログラムを患者安全に特化し、150時間研修としてリニューアルいたしました。

本プロジェクトの最大の特徴は、修了生(CQSO)が、“所属する医療機関のリスクを低減し、実際に患者の安全を確保できるかどうか”に重きを置いている点です。リスク量の測定にはA.I.技術を用います。現在国内で42名のCQSOが活躍しています。

“最高質”の名に恥じぬよう、私たちの経験の全てをお伝えする覚悟で準備しています。また、長期に亘るバックアップ、学術支援、ASUIISHIとの交流なども計画されています。志高き、素晴らしい皆様との出会いを心待ちにしております。



募集期間 毎年5月1日～6月30日

受講資格 医師・歯科医師
(所属機関の推薦を得ていること)

受講料 120万円(税込み)／150時間

募集人数 10～20名程度

期 間 毎年9月17日「世界患者安全の日」を目処に開講

9月から翌年3月までの
7クール(1クール2～5日間)

6月に成果
報告会

※受講料・時間数・募集人数・開催期間は変更となることがあります



詳細は
ホームページを
ご覧下さい。

① CQSO養成事業

150時間、8ヶ月に亘る研修を行い CQSOを養成します

本研修は、患者安全活動を下図のようなループとして捉え、主に以下の項目の達成を企図して準備されています。

- 1 患者安全に関する基盤知識を修得し、インシデント報告のトリアージなど、日々の業務を管理することができる。
- 2 事故発生時の対応など、有業務に成果を上げることができる。
- 3 品質管理手法を用いて、平時の改善活動に成果を上げることができる。
- 4 患者安全に関する周辺業務を理解し、挑戦的・新規的知識を修得する。
- 5 医療機関のリスクを低減し、実際に患者の安全を確保できる。

研修の特長

トヨタO.B.が問題解決手法を直接指導

ワークショップ、ディスカッション、
OJT (On-the-Job Training) 中心の参加型研修

JCI (Joint Commission International)
認定病院の現場を体験しながら実務を修得

「医療安全対策加算」に対応した資格認定

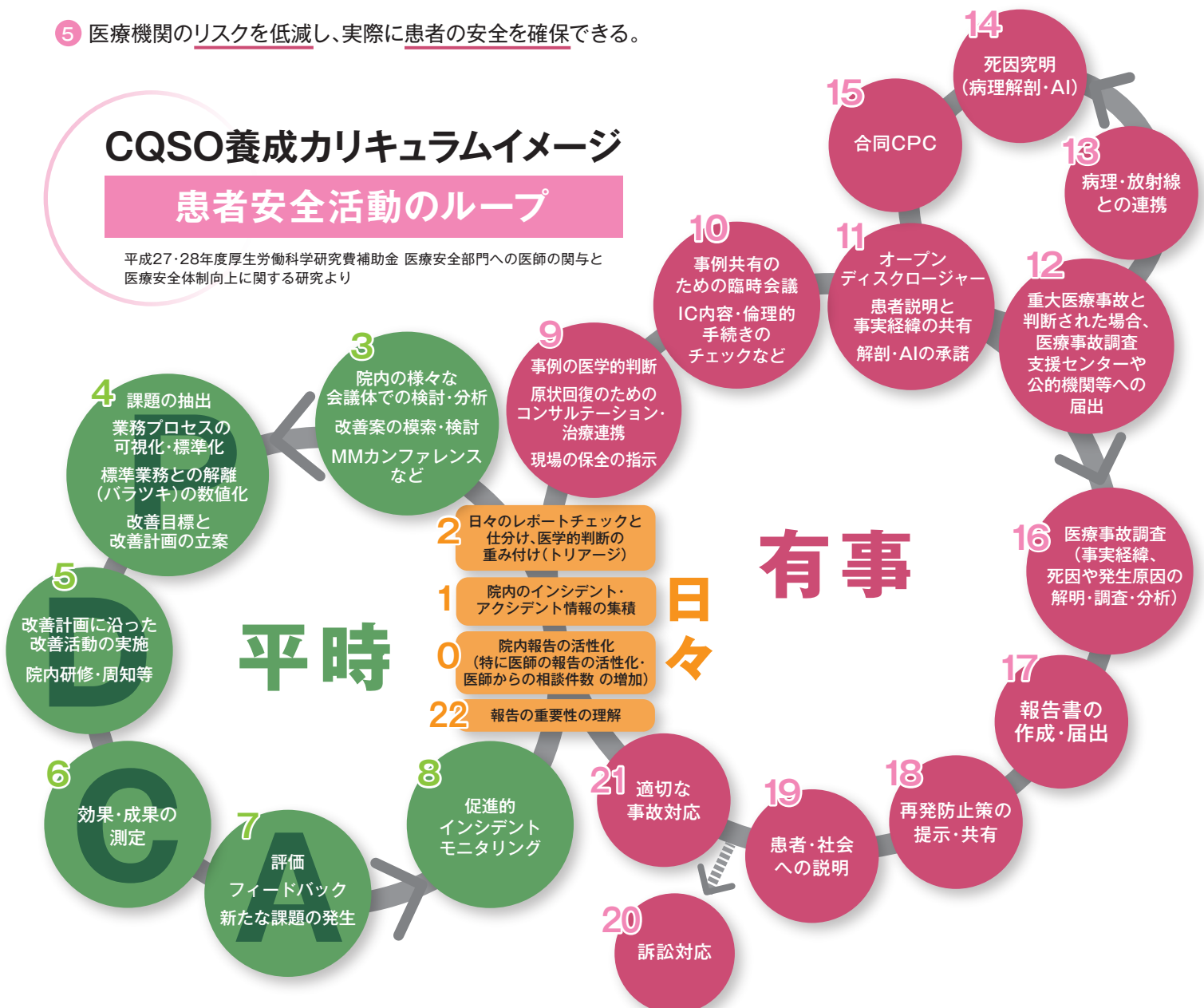
A.I.技術を用いて、病院のリスク量を測定

EQSO/AQSOプロジェクト[※]と緊密に連携

CQSO養成カリキュラムイメージ

患者安全活動のループ

平成27・28年度厚生労働科学研究費補助金 医療安全部門への医師の関与と
医療安全体制向上に関する研究より



周辺業務の理解

基盤となる知識の修得

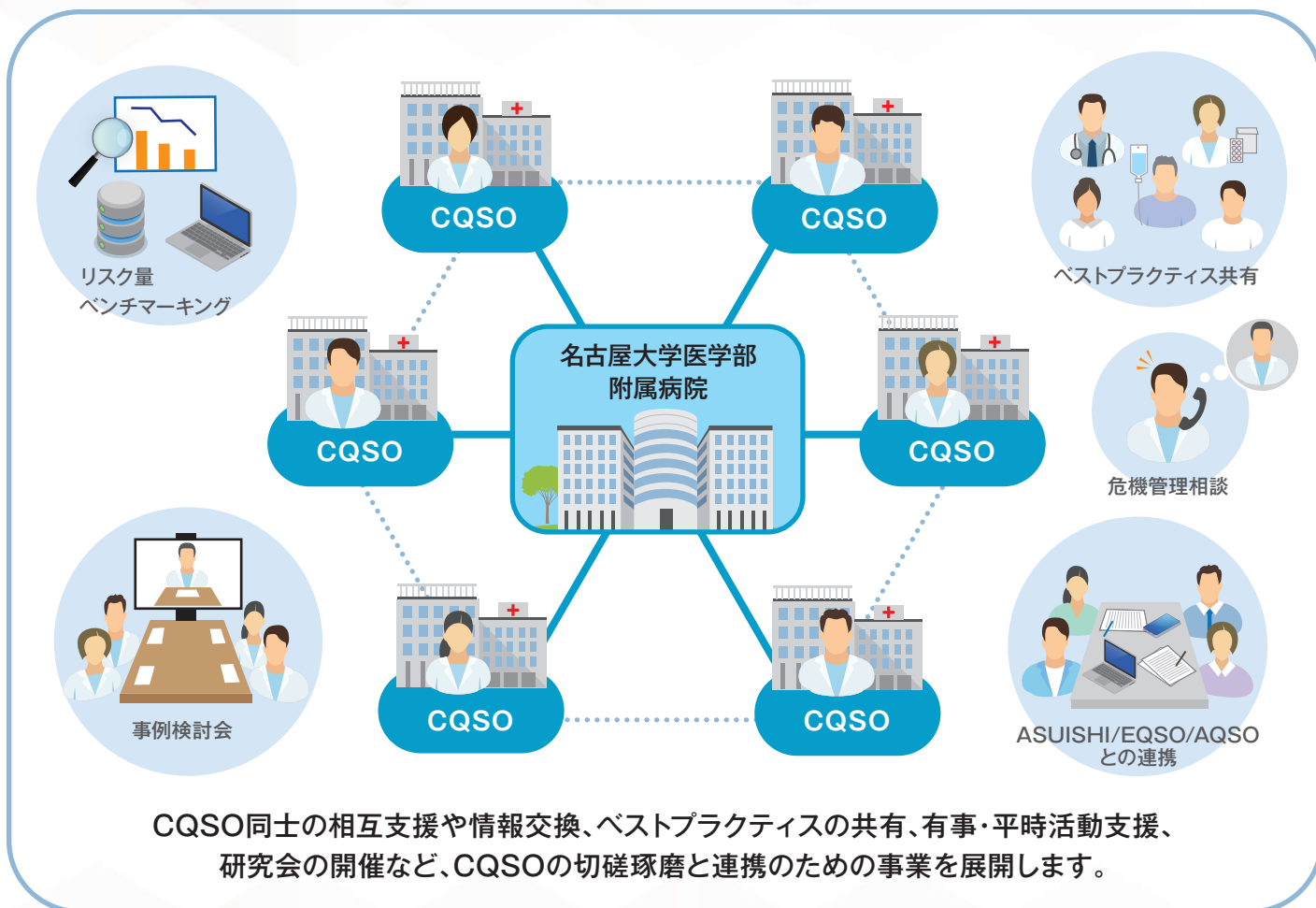
挑戦的・新規的知識の修得

② CQSO支援事業

全国で活躍するCQSOを永続的にサポートします

CQSOは重要な任務を担い、それは白衣を脱ぐまで続きます。全国のCQSOが高い能力を発揮できるよう、下図のようなエキスパートネットワークを構築し、支援します。

CQSO支援事業による継続的サポートイメージ



★2024年10月現在、国内で **42** 名のCQSOが活動しています。

将来的には・・・

CQSOの所属する医療機関のリスク量の変化を測定し、ベンチマークしていきます。長期に亘って、医療におけるリスクの低減を目指します。



問い合わせ先

名古屋大学医学部附属病院 患者安全推進部

〒466-8560 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65番地

TEL: 052-744-2609

E-mail: hrcjimu@med.nagoya-u.ac.jp

http://www.iryosanzen.med.nagoya-u.ac.jp/cqso/



名古屋大学大学院
医学系研究科

CQCA 一般社団法人
中部品質管理協会



2024.10 改訂